

## NEWS RELEASE

2021年6月8日

Lazuli 株式会社

LZL2103

ラズリ  
Lazuli株式会社

**複雑な医薬品マスタを統合する製薬業界向けソリューション**

**「Lazuli PDP for Pharma」の提供を本格開始**

**～外部マーケティングデータを一括管理するためのデータ統合基盤を構築、  
情報の整理・検索・呼び出しを可能にするプラットフォーム～**

AI 技術を活用した、クラウド製品マスタ「Ninja DB」の開発・提供を行う Lazuli 株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：萩原 静巖、以下 Lazuli）は、6月15日より、多様な医薬品マスタを統合する製薬業界向けサービス「Lazuli PDP for Pharma」の提供を本格的に開始します。

製薬業界では多くの企業が、正確な状況把握と意思決定のために、国内外のベンダーから様々な外部データを購入、利用しています。データを販売しているベンダー各社は、そのデータベースに最適な形でデータを作成、提供し、ユーザもそのサービスの目的に応じて、データベースを使い分けています。その結果、ある商品に関するデータは複数のデータベースに格納されており、場合によっては ID も異なることもあります。これにより、商品ごとに複数データベースをまたいで分析をする際に、膨大な量の手作業で名寄せをすることになるため、かなりのリソースを必要とするという課題に繋がっています。

この課題を解決するため、Lazuli の製薬業界向けソリューション「Lazuli PDP for Pharma」は、AI を駆使し複数のデータベース間における商品の名寄せを行います。製薬メーカーは Lazuli の AI エンジンを活用し、複数データベースを統合することができ、データベース間で ID が異なっても、ある商品のデータを横断して分析することが可能になります。これにより、販売・マーケティング系のデータ分析担当者は、これまで手で行っていた複数データベース間の名寄せをすることなく、スピーディーに高度な分析をすることができ、企業としてより早く正確な意思決定をする、また DX 施策の実行可能性を上げる等の効果が期待できます。

Lazuli では、すでに、本邦大手先発製薬メーカーとの PoC を完了し、2021 年中の導入が予定されています。本ソリューションの提供開始を皮切りに、当社が注力している医薬品領域を対象に、商品情報データの民主化を目指しています。

\* Lazuli PDP とは

Lazuli が開発、提供する「Lazuli PDP」は、複数の外部データベースに点在していた商品情報を一括して管理し、またデータを活用しやすい形に整理、拡張するための PDP です。メーカーなどが保有する多様な商品マスタデータを、AI を活用して名寄せし、効能や製品の特徴からメタタグの付与や関連付けを行います。これらの情報が「NINJA DB」に格納され、「Lazuli PDP」として、ユーザーに提供されます。

<Lazuli について>

Lazuli は 2020 年 7 月に設立されたスタートアップです。高度な AI 技術とクラウドを駆使し、AI 商品マスタとして、世界中の商品情報をビジネスに関わる誰もが利用できる SaaS の開発と、提供を進めています。商品が製造、流通、販売される中で、企業間、あるいは企業内においても、商品に関するデータはスムーズに同期されていないのが現状です。これが DX を阻害している大きな要因の 1 つと考えています。Lazuli はこれを解決すべく、ビジネスに携わる人が容易に商品の情報にアクセスできる SaaS 型クラウド製品マスタ NINJA DB を開発・提供しています。

「Lazuli」とそのロゴ、記載されている製品・サービス名などは、Lazuli の商標・登録商標です。無断複写・転載を禁じます。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

Lazuli株式会社  
マーケティング担当  
池内  
E-mail : pr@lazuli.ninja

報道関係からの問い合わせ先

Lazuli 広報担当  
(株)VAインターナショナル  
田中／小林  
TEL : 03-3499-0016  
FAX : 03-3499-0017  
E-mail : vai@va-intl.co.jp